

# のせ町 議会だより

No.

64

秋晴れ! 第1回 能勢中学校体育大会入場行進



定例会議報告・討論

一般質問

委員会報告

# 平成28年能勢町議会9月定例会議報告

9月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第53号 土地及び建物の取得について

能勢の郷跡地を大阪府より購入

土地取得面積 175,530.67平方メートル

建物延床面積 1,694.27平方メートル

取得金額 3476万5632円

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

議案第55号 能勢の郷の設置に関する条例の制定について

観光の振興及び地域経済の活性化、都市住民との交流を図る拠点施設として設置する。

賛 否

原案可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

認定第1号 平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について

賛 否

認 定

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	山本光晴	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	原田健志	美谷芳昭	長尾義和
○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	議長

報告第5号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る健全化判断比率等の報告について

報告第6号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告について

以下の案件は全員賛成により可決・承認されました。

議案第48号 能勢町税条例の一部を改正する条例について

議案第49号 能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第50号 平成28年度能勢町一般会計補正予算（第3号）

議案第51号 平成28年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第52号 平成28年度能勢町介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第54号 普通財産の譲与について

覚書に基づき旧町営火葬場を杉原農業協同組合に無償譲渡

認定第2号 平成27年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定第3号 平成27年度能勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号 平成27年度能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号 平成27年度能勢町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について

認定第6号 平成27年度能勢町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第7号 平成27年度能勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第8号 平成27年度能勢町水道事業会計決算認定について

注：賛否の分かれた議案から先に掲載しています。議長は、採決に加わりません。

# 平成27年度一般会計決算討論

## 反対討論

中西 顕治

直面している大きな課題である少子化、そして高齢社会を迎えて、その改善のためにこそ重点が置かれるべきであるが、27年度事業においては過大な支出を無批判に継続したうえ、財政収支見通しが悪化する中、相応の規模の活性化策が示されていない。

少子・高齢化にすでに突入している本町で住民に密接な課題には薄く、巨額の新学校建設、バイパス工事、火葬場建設などにウエイトが大きく割かれ、高齢化への対応が急がれるなか、要望される介護福祉施策などへの対応はなおざりであり、住民に評価される決算であるとは言えない。よって本決算の認定に反対する。

## 反対討論

中植 昭彦

今般のダイオキシン処理問題では、農業振興、観光関係に大きな被害が発生している。住民からも、被害の訴えがあったにも関わらず、町長は一施設の聞き取りだけを行い、被害は発生していないとの判断をした。様々な事業所がある中で一施設だけの聞き取りを行うだけでは、実態の把握にはならないと考える。また、被害は金銭的被害だけではない。本町の信用失墜による影響も考えたとき、まずは住民に対する説明を行い、住民の声を聞くことが必要だと考える。現在においても誠意ある対応を行わないことに対し、関連経費が含まれる本決算認定に反対する。

## 反対討論

大西 則宏

今回の決算認定に関する山口町長の説明は、余りにもごまかしが多く、住民に対して秘密裏に予算が執行された感が否めない。特に豊能郡環境施設組合負担金については、一切の説明がされず「住民に対する町長の最大の義務である説明責任」が全く果たされていない。山口町長による予算執行の適法性に、大きな疑念を持つところであり、平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定は承認できない。

## 反対討論

大平喜代江

27年度当初予算、民生費の児童福祉総務費において、決定された当初予算額を3割も減額、さらに事業の概要・目的を当初予算時とは、全く異なるものに変えている。当初の事業と異なる趣旨の事業が付け加えられ、減じられた決算額の補いにされていることは不可解極まりない。本来の事業目的とは異なる事業を加え、二本立てにしていることや、本来の事業を減額した理由の説明を求めても明確な説明をいただけない。予算は必要なものだからつけるのであり、予算執行に際し適当に加減して、どうにでもなるという姿勢が見え、到底認められるものではない。一部であっても弱いところから削る本決算認定に反対する。

## 平成28年能勢町議会7月会議報告

7月会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議会議案第5号 ダイオキシン問題につき町住民への説明を尽くすことを求める決議について

賛 否 全員賛成

原案可決

### 要 旨

能勢町議会は、能勢町長に対し、これらダイオキシン汚染物をめぐり一連の諸問題について、神戸市内の産業廃棄物最終処分場からの搬入先を指定する期限とされている本月31日までに説明会を開催し、加えて町ホームページや町広報において詳細な説明を掲載するなど、町住民に対して説明を尽くすことを強く求めるものである。



決算内容をより深く専門的に議論するため、常任委員会で審議を行いました。

## 総務民生常任委員会報告

委員長 福中 満

9月23日、26日、本委員会に付託されました「平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、総務部・出納室・議会事務局・健康福祉部の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

**問** 阪急バスへの補助金が毎年増加している。今後の方針はどうか。

**答** 阪急バスの運行に行政が赤字補てんしていることをもっと住民に周知し、より多くの人に利用してもらえるようにしたい。今後は費用対効果を見ながら検討していきたい。補助金の金額に関わらず、町外に出る路線は維持しなければならない。スクールバスの活用については、様々な制約も多く今のところ難しいと考えている。

**問** 防犯カメラ設置の進捗状況はどうか。

**答** 昨年度は交通対策として2台設置した。本年度は15か所程度の設置を計画している。今後はプライバシー保護の課題等をふまえ、要項づくりを進めたい。

**問** 自治防災組織の今後の組織づくりをどう進めるか。

**答** 区長会において、組織づくり、補助金の活用、避難訓練、ハザードマップ策定等について説明し、各区で積極的に取り組んでもらえるようお願いしている。避難所の備品は現在役場西館と住民サービスセンターに設置している。各地域の一時避難所の備品についてはコミュニティー助成事業でも購入できる。

**問** 消防団員の高齢化・人材の減少等の課題に対してどう対応していくか。

**答** 2年後には操法が一巡するので、消防団と協議し、適正な人員配置の体制がとれるよう進めていきたい。

**問** 放課後児童クラブの運営について、進捗状況はどうか。

**答** 新学校開校に伴い1か所に再編され、スクールバスの活用もできるようになった。保護者説明会を開催し、今年度になって利用者は若干増えている。今後さらにより使いやすい制度にしていきたい。

**問** 認定子ども園への運営補助事業が減額された理由は何か。

**答** 現在300名の園児のうち、4分の1が能勢町の子どもであり、子ども園への支援やアドバイス、保護者への支援は欠かせないと考えている。また運営補助事業が減額となった理由については、新制度に伴って見直しを行ったことによる。

**問** 地域福祉計画の実施と人材確保についてどう進めるか。

**答** ボランティアが減少傾向にあるなかで、小地域ネットワーク事業や各校区の地区福祉委員会の活動等を通じて、今後どのように活動を継続していくか協議したい。また各地区が主体的に取り組む機運を高めていきたい。

**問** 子ども医療費助成について、現在中学生までの助成を高校生まで拡充することは、金額以上に助成効果が大いなのでぜひ実現してほしいが、経費はどれだけ必要か。

**答** もし現行の枠組みで高校生まで助成を拡充すると約500万円、所得制限をなくすと約600万円の財源が必要になると試算している。

続いて、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

# 平成27年度能勢町一般会計決算を認定

## 環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

9月16日、20日、21日、本委員会に付託されました「平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、環境創造部・教育委員会の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

**問** 山口町長は、ダイオキシン問題に関係した風評被害の実態を把握しているのか。ダイオキシン問題の説明責任が果たせていない。倒産があった場合の責任をどのように認識しているのか。

**答** 非常に大きな影響が出てくれば対応を考えなければならないが、それほど大きなものでなかったと判断している。物産センター取締役会では、例年と比べて売り上げが下がっていた訳でなく、天候の影響と結論した。

ダイオキシン問題について、説明しないと言っているのではない。詳細を把握したうえで、しっかりと説明をしていきたい。倒産については、私が説明を尽くしたか否かは関係ない。

**問** 新学校にある学びの丘の公園化に関する予定を問う。また、校歌の完成予定はいつか。

**答** 町内2カ所の公園候補地として、総合戦略にあげている。開放には環境の整備が必要であり、来年桜の季節を予定として進めている。校歌については、本年12月末に完成予定である。

**問** 本来は27年4月であった新学校開校が、1年遅れたことによる総経費の増額はどの部分か。政策決定により新学校開校が遅れ、経費増になったことに対する山口町長、森田教育長の責任をどう考えるか。

**答** 総経費増額の明らかな部分は、大阪府からの派遣職員に関する人件費である。新学校開校には責任を持って対応してきた。政策決定は間違っていない。

**問** 旧学校の備品の管理と今後の方針はどうか。

**答** 新学校へ移転していない備品は、そのまま管理している。処分方法については売却を含め、財政担当部署とも調整しながら考える。

**問** てっぺんフェスティバルへの町職員参加であるが、関係職員のみ参加に思える。能勢町の大きなイベントを職員全体で盛り上げようと考えらるべきである。職員参加を促す努力はしたのか。

**答** 町職員の参加確保は検討が必要と考える。今後、違った形でのPR等全体が盛り上がるようにしていきたい。職員のボランティア参加についての呼びかけはできていない。

**問** 豊能郡環境施設組合に対する負担金について、住民の税金が予算説明と違う使われ方をしていた点は説明すべきである。

**答** 大牟田市で処理する約1億円である以外の正式な報告は、豊能郡環境施設組合からは受けていない。

**問** 道路の危険箇所は把握しているか。また町道平野線・国道173号線接点の信号機について、区長会の要望も出ているがどう対応するのか。

**答** 危険箇所を点検のうえ、地元からの要望等に対応したい。信号機について警察協議は移設だが、信号機を残すという意見を豊能警察に訴えていく。

**問** スクールバスの対応状況と課題は何か。また、徒歩通学の安全対策、対応状況、要望はどうか。

**答** 半数の児童生徒がスクールバスに乗車している。クラブ活動、放課後学習については、送迎等の保護者協力がある。バス停の場所とルートについての地元要望があり、協議している。徒歩・自転車の安全に関しては、8月に各校区の代表区長とPTA会長の連名で要望書が提出されており、通学対策委員会で検討することになっている。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。